

議会だより

第91号

令和8年7月31日発行



主な内容

- 地域のヒーローにインタビュー …… P2、3、20
- 第140回定例会の結果 …… P4～6
- 一般質問 …… P7～15
- 政務活動費実績報告 …… P16
- 日程 …… P17
- 委員会調査レポート …… P18、19

実りを、未来へ。

南あわじ市議会
ホームページ



 マチイロ



南あわじ市議会
YouTube



<https://www.city.minamiawaji.hyogo.jp/site/gikai/>

小型ポンプの部



賀集 1-1

団員数が少ない中でも地域防災のため日々活動しています。
消防団活動にはやりがいがあり、団員が集まることで地域の団結も強くなっていると感じています。



津井

仕事との両立で全員が揃って練習するのは大変でしたが、練習を重ねるにつれて動きが揃い、結束が深まりました。
皆さんの「ありがとう」が励みになります。



中条第2

仕事後の疲れた体で練習するのは大変でしたが、この活動を通じて地域に貢献できているように思います。どんな天候でも集まる団員の存在が素晴らしい。

地域のヒーローにインタビュー



6月7日南あわじ市消防操法大会が開催され、出場されている消防団の皆さんに大変なことや日頃からの思いを伺いました。



インタビューは20ページに続きます。



三原志知



例年より練習時間が少ない中でも、団員が協力して操法の形になりました。
この活動は地域の交流の機会となり、地域防災のため日々頑張っています。

仕事と練習との調整が難しかった。高齢化や団員不足により十分な活動ができず申し訳なく感じることがありますが、地域に貢献するため活動しています。



安住寺

仕事に都合をつけながらの練習は大変でしたが、消火活動の基本を学ぶことができて良かった。
今後も地域の皆さんの安全・安心を守るため努力していきます。



伊加利

同じ地区の団と競い合うことでタイムが早くなった。大会では仲間と協力する大切さを感じました。この一致団結した経験を地域活動に活かしていきたいです。



賀集 1-2

仕事後の練習は集まりにくく、消防操法を覚えるのは大変でしたが、団員全員が前向きだったのが良かった。
習得した技術は今後の消防活動に役立てていきたいと思っています。



阿万特設



中筋

仕事後の練習は大変でしたが、団員全員で地域活動に取り組めたのが良かった。基礎的な操作を今後の消防活動に生かし、地域活動にも積極的に取り組んでいきたいです。



神代第1

練習はとても多かったが、仲間と同じ方向を向いて頑張れた。また、火事も多く、消防の道具を扱えるようになるのが大切です。地域の皆さんが安心して暮らせるよう頑張っていきます。



福良

仕事や家庭の両立をしながら練習することや若手団員が入ってこないことは大変ですが、地域の安全を守る使命感を持って、安全安心のまちづくりをしています。



湊

練習時間を確保するのが大変でしたが、地域からの求めに応えられるように、少しでも早く消火活動ができるよう自己研鑽に励んでいます。



八木第3

大会に出られると思っていなくて、練習が増え、家庭に負担をかけてしまいましたが、支えてくれたおかげで、練習をうまく組み立てられ集中してやれました。

ポンプ自動車の部



審議議案 会期：6月3日～6月25日

議案第44号 令和8年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3億2,931万3,000円を追加。

ゆーぷる、施設全体の現状調査へ

▶温浴施設調査業務委託料900万円の増額
経緯

今年1月、浴室の天井部分の劣化により、緊急点検を行った結果、補修だけでは対処できないことが判明。現在も休館中。

今回の調査目的

浴室、共用部分など施設全体の現在の状態を把握するため。

今後の営業再開は未定

市は今回の調査結果をもとに施設の在り方を様々な角度から慎重に検討し、令和9年1月頃に報告書をまとめる。

トラクターなどの費用補助 (補助率10分の3以内)

▶地域農業構造転換支援事業補助金
1,236万6,000円の増額

内訳

個人3件、法人2件(令和7年度申請)

対象者

地域計画に位置付けられた担い手

対象となる農業用機械・施設

・トラクター、ビニールハウスなど

令和8年度も補助事業を実施

実施期間 令和8年5月12日から当面の間
補助上限額 個人1,500万円以内
法人3,000万円以内

申請手続について

市が受付窓口となり、わかりやすく説明していきたい。



原案可決

議案第47号 市税条例の一部を改正する条例制定

令和9年度から 固定資産税の免税点、引上げ

改正内容

- ・家屋 20万円から30万円に変更
- ・償却資産 150万円から180万円に変更

市民への影響

- ・家屋 名寄せごと557件減少
- ・償却資産 名寄せごと202件減少
- ・課税額 約660万円減額(令和8年度基準)

効果・期待

償却資産においては設備投資がしやすくなるのではないかと。



原案可決

議案第53号 国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定

令和8年度国民健康保険税率等の見直し

改正内容

兵庫県と県内市町がともに運営を行う国民健康保険事業に要する費用を確保するため、市の国民健康保険税の税率等の改正を行う。

税率等引き上げの主な理由

医療技術の高度化等により医療費が上昇し、県に納付する一人当たりの金額が増加したため。全体として令和8年度の税額は令和6年度と同程度になる。

市民が納税に困らないように

市は一律の事務処理として徴収するのではなく、直接対話しながら、一人ひとりの事情に合わせた適切な対応を考えていきたい。

(右上に続く 討論へ)

■討論

反対 吉田 良子 議員

討論要旨

実質賃金さがり、わずかな年金引き上げの中、物価高騰が家計を直撃している時に国民健康保険税の引き上げは認められない。社会保障制度維持のため、市は国や県へ補助金の拡大を求め、市の一般会計からの繰入を行うべきだ。

賛成 蛭子 智彦 議員

討論要旨

法律や国の基準などの縛りがある中、命の砦としての国民健康保険制度が持続可能な制度として維持されるようによく考えられている。基金に頼っても限界があり、住民健診の受診率も高く、よく努力もされている。



原案可決

■令和8年度国民健康保険税の税率等の改正について詳しくはQRコードからご覧ください。



議案第55号 小中学校照明LED化業務請負契約の締結

市内全小中学校20校、 照明をLED化へ(校舎、体育館等) 株式会社谷電気(谷電気・鯉森電工・ アイリス共同事業体)と契約

公募型プロポーザル方式による随意契約。

目的

温室効果ガス排出量の削減、消費電力削減に伴う電気代の削減及び維持管理費などの歳出削減。

児童・生徒への効果は

LEDの光は均一で安定しているため、目の疲労軽減や集中力向上に繋がる。

また、請負業者から環境教育講和や脱炭素啓発活動の提案があり、学校と調整し実施していく予定である。



原案可決

人事案件 [敬称略]

■沼島財産区管理委員会委員の選任

同意 花岡 基裕
佐々木 敏雄
伊藤 正富
石田 富治
山田 吉信
森本 章
安達 金次

任期 令和8年7月3日～令和12年7月2日

■農業委員会委員の任命

同意 宇山 昭彦 木曾 耕造
原 立身 三原 賀代子
庄司 文治 馬野 誠
金崎 由季生 中山 益之
古川 豊 齊藤 勝治
堀川 真奈美 黒田 明宏
國中 昭二 溝口 保夫
井上 成一郎 山口 裕之
正木 正年 尾崎 奈緒子
木本 弘文

任期 令和8年8月1日～令和11年7月31日

議決結果

■全議員賛成の議案

提出者	議 案 名	議決結果
市長	税条例の一部を改正する条例制定の専決処分	承認
市長	損害賠償額の決定及び和解の専決処分	承認
市長	令和8年度一般会計補正予算（第1号）	原案可決
市長	印鑑条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	税条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	火入れに関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	指定金融機関の指定	原案可決
市長	消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定	原案可決
市長	物品売買契約の締結（消防ポンプ自動車）	原案可決
市長	小中学校照明LED化業務請負契約の締結	原案可決
市長	沼島財産区管理会委員の選任	同意
市長	農業委員会委員の任命	同意

■賛否の分かれた議案

議長（谷口博文）は表決に加わらない。（○は賛成、×は反対）

提出者	議 案 名	議決結果	久米啓右	蔭山順子	吉田良子	大江幸司	蛭子智彦	熊田由貴	山野大祐	三澤加枝	仲野久美子	道中孝次	廣内志津子	北条志巧	齋藤勇樹	山口拓生	原部久信	印部守	阿部
市長	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定の専決処分	承認	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	令和8年度介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市長	国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

定例会や委員会の映像は
YouTubeでライブ配信、終了後も公開しています。

QRコードをスマートフォンやタブレット等で読み取ると視聴できます。

※注意事項

配信されている映像・音声は、南あわじ市議会の公式記録ではありません。
動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



本市の障がい者等の雇用 施策について問う

誠道クラブ 山口 勇樹 議員



南あわじ市の現状について

問 就労支援対象となる年齢と人数は。

答 障害者総合支援法*に基づく障害就労支援の対象年齢が18歳から64歳、対象人数は約860人。

*「障害」について、法令や制度では漢字表記。

問 対象者のうち就労している人数は。

答 令和7年度実績で153人。

問 就労の内訳は。

答 いずれも福祉的就労で、就労移行が7人、就労継続支援A型が10人、就労継続支援

B型が130人、就労定着支援が6人と、全体で増加傾向にある。

問 就労していない当事者の実態把握は。

答 相談窓口を通じた把握、障害福祉サービス利用状況からの把握、民生委員など地域との連携により把握している。

超短時間雇用プロジェクトについて

問 ここまでの成果は。

答 障がいや疾病などで長時間勤務が難しい方でも1日1時間、週1日から働ける環境の基盤整備を進めている。現

在、登録者数は42人、そのうち11人が就労している。また、12の事業所から35種類の仕事の切り出しができています。

先進地視察を終えて

問 視察で得た学びと気づきは。

答 本市の地域特性と既存の資源を最大限に生かして、誰もが自分らしく輝ける社会の実現を目指す。



▲一人ひとりの意欲と能力を生かせる南あわじ市に



神戸大学跡地の利用

心和の会 蛭子 智彦 議員



問 神戸大学跡地購入の目的は。

答 地域に新たな価値を生み出す可能性を秘めていると判断し購入した。中低価格帯の宿泊施設建設を検討したがその枠にとらわれず、より広範な視点で活用方法を検討する必要がある。

問 ワールドマスターズに利用する予定は。

答 大会関係者の宿泊所として活用を考えている。

問 低中価格帯の宿泊施設の実績のある業者を探すことは

できないか。

答 低中価格帯の事業者で実際の運営シミュレーションをすると、改修に7億～10億円、運営では1,500万から2,500万円の年間の赤字という結果になっている。

問 市長の考え方は。

答 慶野松原荘の果たした機能をどう持たせるか。赤字を垂れ流すこともできないので、丁寧に考えていきたい。

問 管理棟や売店を活用すれば十分に可能と思う。

答 長期的な滞在場所として

の活用もあるかと思う。

問 地域の声を聴き、検討を求める。

答 地域とも十分に話し合う。



▲旧神戸大学大学院海事科学研究科海洋実習施設



本市にとっての国際交流事業とは？

誠道クラブ 原 拓生 議員



問 国際交流事業の今後の位置づけ、今後の方向性について。

答 市民や関係団体との連携の下、効果的かつ持続可能な事業推進に努めている。若い世代の育成と地域発展に資する施策として取り組んでいこうと考えている。

問 学生交流事業は、どのような成果や効果が得られていると認識しているのか。

答 受入れ家族との密接な交流を通して、単なる観光では

得られない現地の生活や文化を肌で感じる体験となっている。

学生は異文化への理解やコミュニケーション能力を高めて、国際感覚を身につける機会となっている。

問 学校教育や青少年施策と国際交流事業を連携させていく考えは。

答 参加した生徒が経験を同年代の生徒に対して紹介する機会を設定することで、夢や希望を持って、自分の未来を切り開く力をつけるキャリア

教育でつきたい力である課題対応能力やキャリアプランニング能力、人間関係形成、社会形成能力、自己理解、自己管理能力などの基礎的・汎用的能力の育成が期待されると考える。

今後、学校や関係課と協議・検討していきたいと考えている。



豊かな海と食を未来へ、誰もが輝く安心のまちへ

ゆづるはクラブ 道中久美子 議員



問 ジャパンコーヒーフェスティバルin南あわじ市の成果と効果は。

答 530人の方に御来場していただき、沼島や灘、灘黒岩水仙郷の魅力をPRできた。

問 漁業従事者の人数の変化と、所得向上や経済安定に向けた支援策は。

答 漁業組合員数は20年前と比べると52%減少している。漁業再生事業メニューに加え燃油高騰についても支援できるよう、令和8年5月に要綱の改正を行った。

問 世界一の食の島構想の中で、ハモ漁、ハモ料理について市長の所見は。

答 ハモ漁は非常に重要な位置づけであり、ハモすきは淡路島ならではの味覚である。世界一の食の島づくりのキラーコンテンツの一つになると期待されている。

問 シニア元気分け合いプロジェクトのめざす地域の姿は。

答 「高齢者が元気で生き生きと自分らしく暮らせるまち南あわじ」の実現を最終的な目標として掲げている。

問 広報紙の情報をホームページ上で音声で聞くことができるか。

答 ボランティア団体や社会福祉協議会など関係者と協議検討を進めていきたい。

他に、視覚・聴覚障がい者への情報の保障について質問した。



▲ハモ



今後の南あわじ市のスポーツのために

誠道クラブ 齋藤 巧 議員



西淡グラウンドの芝生植付後について

問 管理は。

答 サッカー協会や地域の関係者が行う。故障した場合、スプリンクラーやホースは市が備品として購入しているので修繕や更新をする。スプリンクラーに接続する給水設備は(一社)南あわじアスレティックススポーツクラブが整備する。

慶野松原の薬剤散布後は

問 枯木が全くゼロというのは難しいが、少しでも枯木が出た場合の対策は。

答 枯れてしまった木は、次の松への被害を防ぐために伐倒駆除が必要である。

市道津井線について

問 ガードレールの支柱部が雨の浸食で見えている。今後の対策は。

答 今後さらに雨や土砂の流出があるかもしれないので、のり面の土地所有者を確認するなど、時期は未定だが、簡易的な土砂流出防止対策など検討していきたい。

能登半島地震の発生を受けて

問 南海トラフ巨大地震の発生時の対応は。

答 気象庁がまず緊急地震速報や大津波警報を発表。J-ALERT(全国瞬時警報システム)より緊急速報メールや防災行政無線の屋外スピーカー、戸別受信機で市民に安全確保と速やかな避難を呼びかける。





資源循環産業体系マスタープランについて

心和の会 久米 啓右 議員



問 マスタープランで堆肥化施設を選定した理由は？

答 運用面において、将来的な事業展開や規模の変化、それから最新技術の導入等に対応が可能である。

問 民間のバイオマス施設とその年間処理量は？

答 令和7年度の実績で「寺内堆肥センター」は418.3t、「南あわじタマネギリサイクルセンター」は1,944.9t、合計2,363.2t。

問 市の運営する神代と北阿万センターの年間処理量は？

答 令和7年度の実績で年間2,680t。

問 その内訳は直接農家持ち込み数量が214t。青果業者の持ち込みが2,466tとのこと。青果業者の扱う南あわじ市産と市外産の玉葱の割合は？

答 南あわじ市産が2割(493t)、市外産が8割(1,973t)。

問 施設運用開始時の南あわじ市産玉葱の残渣は214tと493tで合計707t、市外から持込んだ玉葱残渣が1,973tとなるが？

答 推定計算すれば、市内産はそのような数字になる。た

だ、玉葱産業の振興と南あわじ市全体で発生する残渣処理施設を計画しているもの。

問 ならば関係業者にも費用の一部負担を申し出るべきではないか？

答 検討会等でそういう議論をしている。



国生み神話の島「沼島」について

誠道クラブ 阿部 守 議員



南あわじ市にとって沼島の存在を問う！

問 市長の見解も含めて沼島の存在とは。

答 様々な魅力にあふれた、本市にとって重要な地域。しかし、深刻な課題を背負っている。沼島の住民の皆様が大切な生活の場を守り、次世代に繋いでいきたいという強い思いがある限り、市としても真剣に向き合い支援する。

海上貨物輸送の体制づくりについて

問 現状について。

答 市と沼島地区連合自治会ほか、地域関係者と協議を進めている。新造船の建造費用は市が負担する。

問 新法人設立のデッドラインは。

答 手続きを円滑にするため、令和8年8月までに設立できればと考える。

鳥獣対策について

問 イノシシの生息頭数や増減傾向をどう分析しているか。

答 250頭程度、テレビの報道では300頭。

問 抜本的な対策はあるか。

答 島ぐるみの鳥獣対策を実施していく。

丸川プロジェクト事業について

問 沼島小中学校のために使う認識でいいのか。

答 その通り。小中学校全体に有効であるかどうかの観点から事業展開する。

その他、沼島地区における中学校部活動の地域展開、離島留学と空き家対策について質問した。



沼島のシンボル上立神岩



少子高齢化・人口減少対策と吉備国際大学南あわじ志知キャンパスの活用について

大志の会 大江 幸司 議員



問 吉備国際大学が存在することによって、南あわじ市への経済効果は。

答 在学者のうち329名が本市に在住しておりこの方々が年間平均100万円を支出するとするならば、約3.2億円と推計。アルバイト収入のある学生や大学教職員、大学運営費用を加味すると、プラスアルファの経済効果がある。

問 大学との包括連携の成果は。

答 地域植物資源研究会は、農作物の生産障害や農家の高

齢化、後継者不足といった問題に取り組んでいる。

地域ブランド食品研究会では、狩猟活動を通じて、箱わなの捕獲効率向上を目指し、イノシシの誘引に効果的な餌の開発を進める。

地域資源保全研究会では、里山のバッファゾーンの管理がおろそかになり、やぶ化しないように間伐材や草本類に経済効果を見だし、収益を地域に還元する手法を研究している。

地域海洋資源研究会では、



第3次南あわじ市男女共同参画計画について

志 仲野 加枝 議員



問 価値観の一律な押しつけでなく、男女共同参画社会が必要な理由は、人口減少や担い手不足など地域課題解決に直結するからだ。市民に理解してもらうことも大事だと考えるがどうか。

答 市民に理解をいただくのが、まずもって大切なのかなと考えている。

問 男女共同参画について市長の考えは。

答 行政と市民が共にできることを着実に積み上げることが大事だと思う。積み上げの

先に、遠からず次世代に選ばれるまちづくり、子育ての喜びが見えるまちづくりが見えてくるのではないかと期待し、決意もしている。

持続可能な休日応急診療所の運営について

問 医師会の先生方の高齢化が進み、診療所の持続可能な運営体制が課題だ。国の制度の緩和で、看護師が常駐し、医師がオンライン診療という形が考えられる。休日応急診療所へのオンライン診療の導入の可能性は。

漁業に従事する人の多くが高齢化しており、高齢者でも無理なくできるワカメの育て方を研究している。



▲吉備国際大学南あわじ志知キャンパス

答 現段階では課題は多い。医師会と協議しながら可能性を研究していきたい。

問 医師には時間短縮をして対面診療。夜間はオンライン診療。加えて自宅からオンライン受診を可能にすれば、選択肢も増えサービスの向上につながる。





高齢者、子育て世代への支援の拡充を

日本共産党 吉田 良子 議員



問 国の臨時交付金の活用は。

答 効果的に支援が届くような活用を考えている。高齢者の移動手段の充実を

問 「高齢者のための暮らしの情報誌」の部数、予算、配布方法は。

答 2,000部、52万3,000円、65歳到達者や老人クラブ、ケアマネジャーらに配布、また個別の相談ケースごとに配布している。

問 情報誌の最後のページに移動手段として掲載している外出支援サービスだが、対象

者、買物などへの見直しは。

答 最適な移動手段の構築に努めていきたい。

問 また人工透析患者通院送迎費用助成事業は、初乗り料金補助の見直しは。

答 総合的に検証していきたい。

放課後の児童の居場所づくりの改善は

問 学童保育所とアフタースクールの定員と待機児童数は。

答 定員は全体で530人、待機児童数は59人。

問 この現実の受け止めは。

答 年々ニーズが高まる一方で、人材確保が難しい。

問 定員を超えている複列の学童保育所の改善は。

答 学校と協議が必要。

問 夏休みの受け入れは。

答 断らざるをえない状況がある。

問 指導員の待遇改善が必要ではないか。

答 人材確保、相談体制の充実などの環境づくりに対応していく。



高齢者のための暮らしの情報誌



アフタースクール事業の課題をどう考える？

心和の会 蔭山 順子 議員



問 支援員やスタッフの確保状況は。

答 ハローワークや市広報で随時募集、退職された教職員や保育士に働きかけといった取組を続けている。

問 事業の評価は高い一方で人手不足が課題だが、担当課として各拠点の課題を認識しているか。

答 運営状況を把握し、必要に応じて学校、関係機関と協議を重ねながら利用可能な教室の活用、運営方法の見直しなど、受け入れ環境の確保に

向けて実情に応じた対応に努めている。

問 北阿万アフタースクールの場所を学校へ移行できるのか。

答 今年度中には移転を完了させたいと考えている。

情報発信の戦略について

問 発信媒体は充実しても、発信しただけでは十分ではなく、必要な人に届いたか、市民目線に立った情報伝達のあり方を検証する必要があるのではないか。

答 公式LINEの利用拡大には、日常生活で使用方法に慣れていただくことが効果的だと考える。市のスマホ相談窓口ではミニ講座も開設しており、個別対応により個人に寄り添ったサポートを実施している。市で利用できる各ツールを使って、情報発信を適時適切にできるよう努めていきたい。

他に、高齢者施策と地域づくりの連携について質問した。



▲アフタースクール



感染症対策の強化を

南あわじ市公明党 熊田 司 議員



問 RSウイルスというのは、どのような病気か。

答 主な症状として、発熱、鼻水、せきなどの症状があり、多くは軽症で数日のうちに軽快する。特に生後間もない時期の乳児は、感染するとせきが悪化し、重症化することがある。乳幼児のみならず、成人や高齢者も感染することがあり、特に高齢者や基礎疾患をお持ちの方は、肺炎など重症化する場合がある。

問 高齢者へのRSワクチン接種費用の助成を検討してはど

うか。

答 医師会の見解や助言をいただきながら、国の定期接種化への検討状況、また、他市の動向等を注視していきたい。

誰もが利用しやすい市コミュニティパークをめざして

問 公園内でペットを連れてくる方へ、芝生でフン尿をさせないように注意喚起が必要ではないか。

答 自治会の広報紙にも「広場でのペットの排せつは駄目です」、「遊具エリアにはペットを立ち入れないで」、「芝生

が枯れてしまうような行為をやめて」といったことも掲載している。

気持ちよく利用してもらうために、地域づくり協議会の方々と相談しながら、よりよい公園のあり方を模索していきたい。



▲誰もが利用しやすい公園に



未来を見据えたまちづくりを問う

誠道クラブ 山野 由貴 議員



自転車通行環境の整備について

問 危険箇所をどのように把握し、県への情報提供や改善要望を行う体制は。

答 危険箇所は道路管理者による確認のほか、サイクリスト、地域住民、警察等からの意見を考慮しながら、計画的に整備されている。具体的な意見があれば、県につなげていきたい。

倭文中学校跡地の利活用について

問 市民ワークショップ終了

後のこれまでの協議経過と現状を伺う。

答 ワークショップを踏まえ、事業計画や実施手法について調査・検討を進めている。

問 平日の利用者確保を含めた持続可能な運営について、市の考えを伺う。

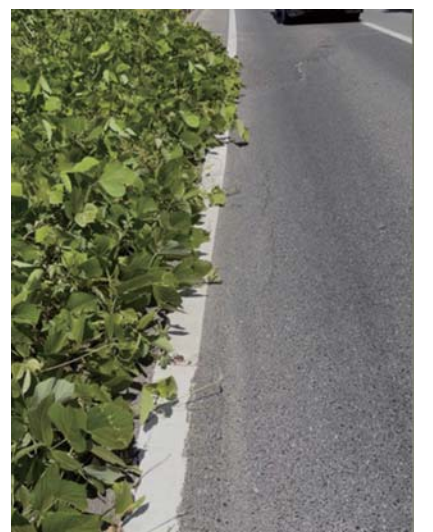
答 島内の子育て世帯の需要を見込み、既存の観光施設とも連携しながら、新たな目的地となり得ると考えている。

登下校確認システムについて

問 小学校における登下校確認システムについて、導入す

る検討はあるのか。

答 現時点で導入予定はないが、登下校の安全確保に関する他の自治体の取組やICTを活用した見守り方法についても情報収集に努めていく。



▲湊 県道25号線



公正な入札を

絆 廣内 孝次 議員



入札について

問 建築事業の工事予算額の算出は。

答 同様案件の平米単価から算出する方法と、業者からの見積りを基に算出。

問 設計監理費の算出方法は。

答 概算工事費から業務に必要な人、日数を算出して計算をしている事例が多い。

問 建築技術課が最終確認をするようにすべきでは。

答 担当課で技術的な確認が難しい場合は、建築技術課で確認、助言を行っている。

防災対策について

問 各自主防災組織に地域住民の連絡先名簿を準備すべきと考えるが。

答 地域ではある程度、連絡先を把握している。今後、災害発生時どのように対応できるか研究を進める。

問 被害状況の確認や連絡、食料品の運搬にバイクは。

答 他自治体の事例等を参考に研究していく。

問 飲料水以外の水の確保に浄水器の用意は。

答 導入する計画はない。災

害時協力井戸に登録し生活用水として活用する。

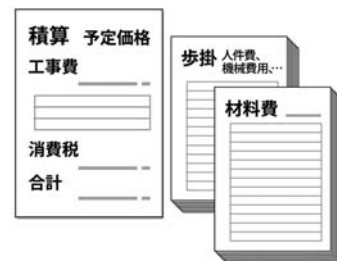
問 昭和56年6月以降の都市計画に入っていない地区の住宅の耐震化は。

答 支援のメニューがない。県に相談する。

南あわじ市空家等対策計画について

問 税の優遇制がなくなる特定空家の認定は。

答 数を増やす取組は引き続き行う。



河川の環境整備について

誠道クラブ 印部 久信 議員



問 本市の年間雨量は。

答 直近10年間の平均1,411mm。

問 本市の面積は約229km²、約1.5mの雨が降った場合、約3億4,000万tの水量になり、その約7割の水が湊へ流れていくと言われている。市や県が管理している河川は。

答 市は188河川、県は27河川。

問 河川の役割は。

答 雨水を安全に海まで流すこと。治水や農業・水道・工業用水として利用、また多くの生物の棲み処であること。

問 氾濫対策は。

答 市・県は堤防や護岸の整備、堆積土砂や大木を適切に撤去。

問 排水機場の整備は。

答 県管理の河川排水機場3か所、港湾排水機場4か所。

問 井堰の数は。

答 県河川に237か所設置。

問 河川敷利用の条件は。

答 管理者の占用許可が必要。利用できるのは原則、地方公共団体、公共交通事業者など。

問 河川の清掃を県が800万円、市が800万円で行っているが、どこをやっているのか、全然

見えてこない。

答 令和7年度は成相川、本庄川、三原川、宝明寺川、新川、初尾川で伐採・除草を実施。

問 観光客が非常に多くなってきているので、国道、県道から見える鬱蒼と生えるアシや竹は景観上よくないと思う。



「ふれあう共生のまち」 魅力ある南あわじ市に

絆 北条志津子 議員



問 学ぶ楽しさ日本一とは。

答 子ども、大人も楽しく学び続け、市教育委員会、地域、市民が一体となって生涯を通じて、豊かな学びの機会を創作していく。

問 どう周知をしていくのか。

答 意識啓発し、共通理解を得ながら推進、認知度の向上を図っていく。

問 島外進学率の増加を踏まえた見解は。

答 私学の無償化の影響がある。動きを注視していく。市内の高校をどう守るか問題意

識はある。淡路三原高校の魅力を高め、選ばれる高校にするのが非常に重要。無償化で島外への進学比率が上がることに危機感を持っている。兵庫県に様々な要請、市でもSagasプロジェクトの強化が必要。

問 クーリングシェルター施設は何か所か。

答 公民館、図書館、公共施設など27か所。

問 淡路ファームパークイングランドの丘のリニューアルに向けてのプロポーザルの結果が令和8年5月に発表され

たが、計画内容は。

答 7割が築40年を経過し建て替え、改修時期となっている。兵庫県が令和8年3月に運営方針を考える検討会を設置。リニューアルや運営方針含めて議論している。

他に、アフタースクール、熱中症対策、防災について質問した。



▲淡路ファームパークイングランドの丘



子どもたちに安心の環境を、 地域に平等なインフラを

誠道クラブ 三澤 大祐 議員



広田保育園の老朽化と交通対策

問 老朽化する広田保育園の修繕と建て替えの検討状況は。

答 修繕により維持管理に努めてきた。平成29年頃に移転や建て替えを検討したが用地等の課題で至らず、現在具体的な計画はない。

問 朝の通園時間帯に発生する周辺道路の渋滞への把握は。

答 認識しており、駐車ルールの徹底により路上駐車は防いでいる。ただ雨天時等は隣接する小学校への送迎と重な

り一時的に混雑するため、今後の施設検討時は周辺交通事情も十分検討したい。

固定資産税とインフラ整備の優先度

問 旧緑庁舎付近など固定資産税の負担が大きい地域はインフラ整備が優先されるのか。

答 利便性が高い地域は税評価額が高くなる傾向だが、納税額の多寡が行政サービスの優先度に直接かわることはない。

問 補修等の優先順位はどのように決めるのか。

答 通学路や危険箇所、交通量等を総合的に考えて都度判断している。「地域協働インフラメンテナンス事業」等も活用し、集落内の小規模道路の要望等にも迅速な対応に努めている。

問 市が合併してから1度も整備されていない道路もあり、対応していただきたい。



▲広田保育園周辺

令和7年度（令和7年12月～令和8年3月分）政務活動費実績報告

誠道クラブ、絆、志、日本共産党、ゆづるはクラブによる合同調査

香川県高松市



岡山県赤磐市



兵庫県播磨町



ICTやIoTなどのデジタル技術を活用して地域の課題を解決し、市民は暮らしやすく、都市の持続可能性を高める街づくりの取組「スマートシティたかまつ」について（高松市）、スポーツで未来の希望が芽生える健康まちづくりについて（赤磐市）、中学校の部活動の地域展開について（播磨町）調査を行った。
（令和8年1月19日～20日）

政務活動費って何？

議会の活性化と政策立案能力の充実させるため、議員の調査研究などの活動に必要な費用を交付しています。

南あわじ市では、議員1人当たり年間15万円（1か月当たり12,500円）を交付しています。

※詳しくは、市ホームページに掲載しています。



政務活動費収支状況一覧表

（単位：円）

会派名 （人数）	交付額	執行額									返納額
		調査 研究費	研修費	広報 広聴費	要請・陳情 活動費	会議費	資料 作成費	資料 購入費	事務費	計	
誠道クラブ（8人）	400,000	228,690	0	0	0	0	0	0	66,000	294,690	105,310
心会和会（3人）	150,000	0	0	0	0	0	0	0	151,276	151,276	0
絆（2人）	100,000	65,340	0	0	0	0	0	0	26,906	92,246	7,754
南あわじ市公明党（1人）	50,000	0	0	0	0	0	0	0	5,381	5,381	44,619
志（1人）	50,000	32,670	0	0	0	0	0	0	16,500	49,170	830
日本共産党（1人）	50,000	32,670	1,400	0	0	0	0	6,600	10,240	50,910	0
ゆづるはクラブ（1人）	50,000	32,670	0	0	0	0	0	0	16,500	49,170	830
大志の会（1人）	50,000	0	0	0	0	0	0	0	39,161	39,161	10,839
計	900,000	392,040	1,400	0	0	0	0	6,600	331,964	732,004	170,182

議会を傍聴しませんか？

だれでも自由に
見たり、聴いたりできるんです



第141回 南あわじ市議会臨時会日程（7月）

	日時	場所
第1日	7月30日(木) 午前10時	1. 議案上程
第2日	8月6日(木) 午前10時	1. 付託案件委員会審査報告、 表決
委員会	7月30日(木) 本会議終了後	総務文教常任委員会 （付託案件の審査）
	8月4日(火) 午前10時	産業厚生常任委員会 （付託案件の審査、事業評価等）

8月の委員会等日程

委員会	日時	場所	内容
議会運営委員会	8月19日(水) 午前10時	委員会室	9月定例会について
総務文教常任委員会	8月7日(金) 午前10時	委員会室	所管事務調査、 事業評価等
産業厚生常任委員会	8月4日(火) 午前10時	委員会室	付託案件の審査、 事業評価等
議会広報広聴常任委員会	8月26日(水) 本会議終了後	委員会室	議会だよりの編集等
子ども議会	8月5日(水) 午後2時	議場	小学生の代表が子ども議員として議員に質問・提案

第142回 南あわじ市議会定例会日程（9月）

◆開会はすべて午前10時～

	会議日	会議内容（予定）
第1日	8月26日(水)	1. 条例案上程 2. 令和8年度一般会計補正予算案上程 2. 令和7年度一般会計、特別会計等決算認定案上程 3. その他の案件上程
第2日	9月4日(金)	1. 一般質問
第3日	9月7日(月)	1. 一般質問
第4日	9月8日(火)	1. 一般質問 2. 追加議案上程
予備日	9月9日(水)	
第5日	9月28日(月)	1. 付託案件委員会審査報告、表決 2. 追加議案上程、表決
委員会	9月17日(木)	総務文教常任委員会 （付託案件の審査）
	9月18日(金)	産業厚生常任委員会 （付託案件の審査）

※令和7年度決算の決算審査特別委員会は、9月10日(木)・11日(金)・14日(月)・15日(火)に行う予定です。

自分たちのまちの議員とおしゃべりしてみませんか？

議会報告会を開催します！

日時／11月9日(月) 午後7時～午後8時30分

※荒天の場合中止

場所／南あわじ市保健センター（広田広田1031-1）

今回の議会報告会では、グループワーク形式で意見交換をします。
詳細は後日、市広報紙、ホームページ等でお知らせします。

お問い合わせ先／議会事務局 TEL 43-5005



委員会、行政視察へ行く

行政視察とは

他の自治体の先進的な施策や取組を現場で確認し、今後の議会活動や政策立案に役立てる議員活動。



— どんな市町へ行ってきたのか報告します。

総務文教常任委員会

日程… 5月20日(水)～22日(金)

▶ 住みたい田舎に選ばれるまちづくり（富山県南砺市） 「住み続けたい」と思える地域づくりが重要

相談窓口や地域とのマッチング、就業や子育てなど切れ目のない支援体制が整っており、“人の人生に寄り添う地域づくり”が行われている。

▶ 能登半島地震と豪雨災害後の現地（石川県珠洲市） 人の暮らしと地域コミュニティをどう再建するか

地震と豪雨災害の爪痕は今もまだ残っている。復興はインフラ復旧だけではなく、平時からの地域住民同士の助け合いも重要である。

▶ 児童のICT活用と基礎学力の向上（福井県坂井市） ICTは「学びを深めるための手段」

ICTは「手段」とし、自分で「考える授業」の実現に重点を置いており、教育において最も重要なのは「人が人を育てる」こととしている。



産業厚生常任委員会

日程… 5月13日(水)～15日(金)

▶ ごみ減量とリサイクルの推進（愛媛県松山市） 1人の1日当たりのごみ排出量が少ないまち

小学生からごみ学習、町内会に推進員を置きごみ減量やリサイクルをサポートするなど、市民の意識醸成が図られている。

▶ イノシシの資源利活用（島根県美郷町） 獣害対策は地域づくりと同じである

イノシシの処理体制は猟友会に任せるのではなく、農家も含め、地域ぐるみで行っている。イノシシは獣害であり資源でもある。その先の地域づくりの未来へ繋げている。

▶ 障がい者1,000人雇用を達成（岡山県総社市） 障がいの有無に関係なく地域で暮らせるまち

障がい者の特性に応じた就労支援からステップアップ支援まで、障がい者を支えたとともに地域の人材として活かしている。「やさしさ」が地域の魅力につながる。



議会運営委員会

日程… 7月1日(水)～3日(金)

▶ 議会サポーター制度（愛知県岩倉市） 市民と共に議会活動について考える

毎年無作為に抽出された市民の中から応募のあった市民に議会運営について意見をもらい、市民目線の議会運営に繋げる仕組みとなっている。

▶ 若者総合政策・若者議会（愛知県新城市） 若者を「地域を支える側」として育む

委員に選ばれた16歳から29歳の若者たちが予算提案権を持ち、議会と意見交換を行い、若者の力を活かすまちづくり政策を考え、市長へ答申し、議会の承認を得て、事業を実施している。

▶ 委員会代表質問（滋賀県草津市） 委員会全体の意見を代表者が本会議で代表質問

個人の考えに基づく一般質問と違い、委員会としての考えを行政に示すことができる仕組みとなっている。委員会での議論がより深まり、政策提言へと発展するなど効果が見られる。



議会広報広聴常任委員会

日程… 4月23日(木)～24日(金)

▶ カフェトーク（兵庫県太子町） 議員とカフェでおしゃべりしているような議会報告会

住民と議員が少人数のグループに分かれて自由に意見交換しており、参加者が意見を出しやすい環境が整えられていた。

▶ 議会だよりの工夫（奈良県王寺町） ターゲットを絞り議会だよりを作成

議会だよりは全ての人に読んでもらうものだが、あえて20～40代の女性向けに作成することで読者数が上がった。

▶ 表紙を市民公募、意見交換会と出前講座（和歌山県橋本市） 市民にとって身近な議会に

表紙のテーマを「笑顔」とし市民から公募している。自治会や各種団体、学校からの要請に応じて議員が出向き意見交換会や出前講座を実施している。



今後、議会活動に生かしていきます！—

消防団長と 優勝チームにインタビュー

※関連ページ 2、3ページ

祝 全国大会出場



ポンプ自動車の部 神代第1分団

天気が悪い中でも、優勝できて良かったです。

先輩達も練習を手伝ってくれたので、淡路大会でも優勝し、県大会でリベンジしたい。県大会の優勝を目指して頑張ります！

練習は昨年の11月から始め、この天気の中でも練習の成果が出て優勝することができて良かったです。

次の大会に向け、家族への感謝の気持ちを忘れず。思い切って全力で取り組みます！



皆、よく頑張った！

賀集第1分団第1部 部長



小型ポンプの部 賀集第1分団第1部



岩口副団長 金崎副団長 井上団長

団員には仕事を持ちながらも操法大会に向けて練習を重ねていただいた。

地域を守るという信念を持って活動していただき、感謝している。

今後も、自然災害や南海トラフ巨大地震に備え、日々訓練を続けていきたい。

淡路地区大会(6/21)では両チームが優勝し、兵庫県大会(7/12)では小型ポンプの部で3位、ポンプ自動車の部で優勝。神代第1分団は全国大会(10/31)へ出場。

編集後記

厳しい暑さが続く季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今号は、暑い日も寒い日も地域の安全を守るため奮闘されている地元消防団の皆様インタビューしました。仕事との両立や活動を通じて生まれる仲間との絆など、普段はなかなか知ることのできない貴重なお話をお届けします。

これからも、住民の皆様に寄り添った親しみやすい紙面づくりを心がけ、多くの皆様に手に取っていただける議会だよりを目指してまいります。(道中)

議会広報広聴 常任委員会

仲野 加枝
北条 志津子
山野 由貴
道中 久美子
原 拓生
阿部 守